



学校だより

平成26年4月15日
NO. 1
射水市立堀岡小学校
校長 小野寺 信子

平成26年度がはじまりました

春暖の候、保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素から本校の教育活動にご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

この度伝統ある堀岡小学校の三十五代校長をさせていただくことになりました、小野寺 信子です。昨年度までの3年間、本校の教頭を務めさせていただきました。この温かな地域で、素直な子どもたちとまた過ごすことができますこと、有り難く、そして幸せに感じております。「子どもと共に、地域と共に」を信条に、精一杯がんばりたいと思います。

今後とも、ご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。

さて、4月4日(金)に始業式、また4月7日(月)には多数のご来賓の方々と保護者の皆様に見守っていただき、入学式を行いました。新1年生23名を迎えて、全校児童136名で平成26年度がスタートしました。

始業式では、校章の「なでしこ」の花のように、力強く、共に寄り添いながら、目標をもって自分なりの花を咲かせていってほしいことを子どもたちに伝えました。このことは、地域の方々が校章に込められた願いでもあります。「だれもが大切な一人一人です。みんながすばらしい力を持っています」。本年度は、『みんなの堀岡小学校』という言葉を含い言葉に、教職員一同、一丸となって子どもたちのよりよい成長に努めてまいります。

地域や保護者の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

入学式・教科書贈呈式

4月7日(月)、23名(男子10名、女子13名)のかわいい新入生を迎えました。

保護者の皆様や上級生の間を担任の先生に手を引かれたり、友達同士手をつないだりしながら入退場する姿を微笑ましく思うとともに、励ましの言葉を聞く態度や教科書を受け取る姿にりりしさも感じました。

あいさつがたくさんできる「よい口」、安全に気を付け、学校や友達のよいところを見つける「よい目」、先生や友達の話をしっかり聞く「よい耳」



をもてる1年生になってほしいと思います。

本校の縦割り活動のよさを生かし、上級生とも関わりながら、健やかに成長していくことを願っています。

1学年担任 やお八尾 なおみ直美 教諭

明るく元気な子どもたちが、早く小学校生活に慣れ、自分のよさを発揮していけるようにがんばります。

転出・転入職員の紹介

25年度末の異動で田中校長先生の退任と4名の教職員の転出があり、4日(金)の始業式の前にお別れの式を行いました。児童の代表が感謝の言葉を伝え、花束を贈呈しました。退場の際には、「この星にうまれて」の歌を歌ってお送りしました。退任、転出された先生方は次のとおりです。お世話になりました。

田中 広光	校長	(高岡市立西条小学校へ)
杉岡 盛子	教諭	(中太閤山小学校へ)
中田 茜	教諭	(歌の森小学校へ)
米田ユカリ	養護教諭	(新湊小学校へ)
太田 朋子	事務職員	(高岡市立太田小学校へ)



離任式の後、新校長の着任式、転入職員の新任式を行いました。挨拶された先生方からは、堀岡地区と子どもたちとのよさを感じ、出会いを大切にして、共に学び合いたい、子どもたちをしっかり育てていきたい、という熱意が伝わってきました。よろしくお願いいたします。

大橋 弘樹	教頭	(金山小学校より)	徳満 祥子	教諭	(作道小学校より)
吉田 裕香	養護教諭	(新規採用教員)	石田 真奈美	教諭	(大門小学校より)
石川 与志子	事務職員	(新規採用職員)	鈴木 絵美	学習サポーター	

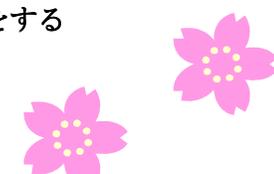
本年度の具体目標

学校教育目標 「心豊かで、たくましく生きる子どもの育成」

学校は、全ての児童が安心して学習や生活ができ、よりよく生きる場所でなければなりません。そこで本年度は、校章の「なでしこ」への思いを意識し、「知：思いや考えを表現し、高める子ども」「徳：互いを大切にする子ども」「体：心も体も鍛える子ども」を目指す子ども像としました。その目指す子ども像に向けて、具体目標(アクションプラン)を6つ設定し、「みんなの堀岡小学校」を含い言葉に、全校で声をかけ合い、取り組んでいきます。

地域や保護者の皆様のご理解とご協力をいただき、共に子どもの伸びを応援していただけますようお願いいたします。

- 知 < ① 自分の考えや思いをしっかり伝える
② 毎日決まった場所で、きまった時刻に家庭学習をする
- 徳 < ③ 時と場に応じた言葉遣いができる
④ 「ありがとう」をたくさん言える
- 体 < ⑤ 毎日運動する
⑥ 「早寝・早起き・朝ごはん」を心がける



校長の目

1年生が学校に慣れるまで、5・6年生が朝1年生を迎えに行っています。近所の女子児童を迎えに行っている5年生A君。児童玄関前まで、しっかり手をつないでゆっくりと歩いて来ます。聞くと、「ここは危ないよ」「左右を見て渡ろうね」等、話しながら登校してきたとのこと。「大切なことによく気が付いたね」と言うと、お母さんが「安全について教えてあげて」とおっしゃったとのこと。お母さんの1年児童を思いやるやさしい気持ち、自分の役割を自覚しお母さんの思いに応えようとするA君。心が温かくなりました。こうして子どもは学んでいくのですね。